

## 社会福祉法人「藤心会」 2023 年度事業計画

社会福祉法人藤心会は、2004（平成 16）年 3 月設立以来 19 年となり、運営する施設も横浜市保土ヶ谷区に特別養護老人ホーム「快風苑」（開設後 17 年）、平塚市大島に特別養護老人ホーム「ふじの郷」（開設後 13 年）。そして 2021（令和 3）年 4 月、藤沢市遠藤に、特別養護老人ホーム「結いの丘」を開所しました。

2022 年 11 月には、法人本部（主たる事務所）を、藤沢市遠藤に移転し、法人としての基盤をさらに固めるため邁進しております。

2016（平成 28）年の社会福祉法の改正以降、社会福祉法人の在り方が見直され、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性、地域における公益的取り組みの責務など法人に対する期待と役割が求められており、当法人もこれらに沿った改革を行うとともに、社会福祉法人としての役割の強化と福祉サービスの向上に努めております。

2022（令和 4）年度は、各拠点で新型コロナウイルスへの感染が広がり、感染予防のため、面会制限や、消毒の実施、そして PCR 検査や抗原キットによる検査を徹底するなど、各拠点では様々な対応に追われた 1 年でした。

2023（令和 5）年度は、これまでの取り組みを引継ぎ、入居者の安全な生活を守るとともに、職員が安心して長く働くことができるなど、法人経営をさらに安定・盤石なものとするため、本部機能をさらに強化・充実してまいります。

以下に、社会福祉法人藤心会としての長期ビジョンと、2023 年度重点目標を掲げ、その実現に向けた取り組みを実施してまいります。

達成すべき長期ビジョン （「アクションプラン 2025」より）	「藤心会」の長期ビジョン
I 経営に対する基本姿勢 自主性・自立性をもって未来志向で事業を展開する	○ 法人本部機能を強化・充実
II 支援に対する基本姿勢 地域全体を支え、制度の狭間のニーズに応える	○ 安心して過ごせる安全な生活環境・利用環境の整備
III 地域社会に対する基本姿勢 地域生活課題に対して包括的かつ公益的に取り組む	○ 信頼と協力を得る効果的な広報戦略の推進
IV 福祉人材に対する基本姿勢 福祉人材の採用・育成・定着に取り組む	○ 人材の育成・定着に向けた取り組みの推進

## I 法人理念と基本方針

～ 地域に密着した「福祉・医療・保健」総合ケアの充実へ  
家庭的で心のこもった優しさといわりのある施設を目指して ～

### (1) 基本理念 「共生・共感」

- ・人権や尊厳を大切にし、支え合って生きる
- ・相手を受容し、寄り添い、感情を共有する

### (2) 基本方針

- ・提供する福祉サービスの質の向上に努める
- ・経営基盤を強化し確実に事業を継続する
- ・社会福祉法人として事業経営の透明性を確保する
- ・職員の知識・技能、意欲の向上に努める

### (3) 行動指針

- ・私たちは、「笑顔・会話・傾聴」を心がけます
- ・私たちは、「思いやり・優しさ」を心に抱いて行動します
- ・私たちは、ご入居者、ご家族、地域の皆さまから厚い信頼を得られるよう努めます

## II 2023年度 法人の重点目標

### ① 法人本部機能の強化・適正化

- ・法人経営および事業経営が良好に進展する体制を構築するため、本部機能を充実させ、拠点間の協力体制を強化する。
- ・将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営により、適切な収益確保を図る。

### ② 安心して過ごせる安全な生活環境・利用環境を整備する

- ・入居者・家族の人権を尊重し、個人の尊厳が守られるよう支援する
- ・災害・感染症発生時のBCPを策定することにより、非常時においても安心・安全な生活を維持できるよう、地域・関係機関と連携し、事業の持続可能性を高める

### ③ 信頼と協力を得る効果的な広報戦略の推進

- ・的確な情報公表を行い、経営の透明性を確保する
- ・個人情報保護を徹底し、地域・家族等からの信頼が得られるようにする

### ④ 人材の育成・定着に向けた取り組みの推進

- ・リーダーのマネジメント能力の向上に取り組み、主体的、自立的なリーダーの育成を図る
- ・研修を充実させるとともに、適正な人事評価などを含めたシステムを構築し、職員育成の充実を図る。

### Ⅲ 拠点別事業計画

#### (1) 特別養護老人ホーム 快風苑

##### (ア) 運営方針 ～ 笑顔が集う 安らぎの丘 ～

ご入居者一人ひとりが、尊厳をもって、その人らしい自立した生活を送ることができるよう、心と身体のケアを大切に、笑顔あふれる家庭的な施設を目指します

- 家庭的で心のこもった優しさといたわりのある介護を提供します
- 一人ひとりのかけがえのない人生を、安全で安心して過ごせる施設を目指します
- 地域に認められ、信頼され、必要とされる施設を目指します

##### (イ) 2023 年度 拠点目標および行動計画

##### ～ 「入居したい・入居させたい・働きたい」施設を目指して ～

重点項目	目 標	行動計画
サービス向上	安全・安心な介護	「入居者ファースト」をスローガンに、安全で質の高いサービスを提供するため、職員研修の充実を図る
地域貢献	地域に根ざした施設	地域と密接な関係を保ち、地域に根ざした、愛される施設を目指す
情報発信	「見せる化」の推進	入居者の日常の様子や施設の取組など、積極的に情報を公開し、家族・地域からの信頼と協力を得る
人材確保・育成	「働きたい」職場	人事考課の適切な運用など、職員が使命感・達成感・安心感を持てる、魅力ある職場づくりを進める
施設運営	安定と継続性	災害時や感染症発生時などの非常時においても安心して過ごせる、安全な体制を構築する

(ウ) 2023 年度 各部門目標および行動計画

	2023 年度の重点目標	具体的な取り組み・数値目標
事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 施設・設備・備品の計画的な保守・管理</li> <li>② 地域交流の活性化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 施設修繕やBCP 対策について、境木の丘と共通認識を持ち、計画的に進めるために、3 か月に 1 回程度の話し合いの場を設ける 感染症発症時・災害時等において、フロア業務が滞らないよう物資を確保し、その情報を共有する</li> <li>② 新型コロナの 5 類移行に伴い、地域清掃を再開するとともに、情報を収集し、新たな地域貢献の機会を増やす</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 入居率の安定化を図る</li> <li>② 各種行事の工夫・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 他部署との情報共有を効率的に行い、第 2 号被保険者、単身者、精神病院などからの受け入れを積極的に検討する</li> <li>② 新しい生活様式を踏まえ、快風苑祭など、主要行事の復活・充実の他、個別対応の食事行事や新たな食事レクリエーションを充実させる</li> </ul>
看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ケア手順・処置の統一と、評価・再計画プロセスの定着</li> <li>② アセスメント・経過記録の工夫・評価</li> <li>③ ご家族との信頼関係を築く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 処置表を改善し、手順の明記、評価の共通認識ができる経過表(仮)を作成し、計画性のあるケアを行う。(5 月中に始動)</li> <li>② 毎月、記録監査の時間を 30 分設けてお互いに客観的に評価し、他部門が見ても分かる記録を残す</li> <li>③ 面会や受診時などを利用し、ご家族との会話の機会を作るなど、積極的に関わる(入居者のご家族がなんとなく浮かぶまでが目標)</li> </ul>
介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 開かれた『新しい介護部門』の再構築</li> <li>② 感染症との共存</li> <li>③ 積極的な加算の取得と経費削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 会議などに積極的に参加してもらい意見を抽出し、士気の向上、安定したケアの提供につなげ、働きやすい環境づくりを進める</li> <li>② 感染症が発生した場合に、迅速かつ的確な対応ができる体制づくりを強化し拡大防止に努める</li> <li>③ 引き続き経費削減(できる限りの節電、エアコンの温度設定、おむつ代の削減など)に取り組むとともに新しい加算の取得を目指す(排泄、褥瘡)</li> </ul>

(2) 特別養護老人ホーム ふじの郷

(7) 運営方針 ～ 笑顔があふれる 安らぎの郷 ～

「食・遊・動」 元気になる介護の実践。

- 私たちは、「食・遊・動」を基本に、ご入居者様の活動的な毎日を支援します。
- 私たちは、ご入居者様の日々の生活にしっかりと寄り添います。
- 私たちは、ご家族様・地域社会との結びつきを大切にし、ご入居者様の社会参加を積極的に支援します。

(4) 2023 年度 拠点目標および行動計画

重点項目	目 標	行動計画
サービス向上	安全・安心な介護	多職種協働を推進し、利用者本位の安全かつ質の高いサービスを提供
地域貢献	地域に根ざした施設	常に身近にある施設として、地域と共に歩み、地域に寄り添う施設を目指す
情報発信	「見せる化」の推進	あらゆるツールを有効活用し、リアルタイムに施設の状況・情報を発信し、オープンな施設を目指す
人材確保・育成	「働きたい」職場	若年層に選ばれ、魅力ある職場と認知されるよう情報提供・職業体験等を積極的に行い、人材確保に努める
施設運営	安定と継続性	施設の中・長期計画を策定し、常に先を見据え、変化に柔軟に対応できる施設運営を目指す

(ウ) 2023 年度 各部門目標および行動計画

	2023 年度の重点目標	具体的な取り組み・数値目標
事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ムリ・ムラ・ムダを減らし合理化を進める</li> <li>② 安全・安心・清潔・快適な施設管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 他部署との連携により、業務内容を共有し、業務効率の改善及び業務の偏りを無くす</li> <li>② 年間計画に則り、施設管理の実施</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 稼働率の維持</li> <li>② 新規顧客の開拓</li> <li>③ 栄養マネジメント強化加算及び経口維持加算等の取得の為の取り組み</li> <li>④ ワイズマンの活用</li> <li>⑤ 学会分類 2021 (食事) に沿った食事形態の見直し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 年間稼働率 97%維持</li> <li>② 他事業所・関係機関との連携により、新たな顧客確保に努める</li> <li>③ 人員補充とミールラウンドの実施及び歯科医、歯科衛生士との協力体制の構築</li> <li>④ 栄養マネジメントのワイズマンへの移行及び LIFE 算定の取り組み</li> <li>⑤ 他事業所との共通認識ができるような食事名称及び形態の見直し</li> </ul>
看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>① こまやかな健康観察により、早期発見、悪化防止に努める</li> <li>② 看取りケアの充実</li> <li>③ 感染症対策の継続</li> <li>④ 介護ソフトの有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常の健康管理をこまやかに実施し、異常の早期発見、悪化防止に努め QOL の維持に繋げる</li> <li>② 退居者の 9 割は施設での看取りとなっているため、ACP を含めより良い看取りケアの充実に努める</li> <li>③ 基本的な感染対策の継続と、クラスター発生防止</li> <li>④ 各部門との情報共有を進め、新たな加算 (LIFE) 算定に取り組む</li> </ul>
介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 配信サービス等を活用し、十分な研修の実施</li> <li>② 特定技能 (介護) 外国人職員の育成</li> <li>③ 余裕あるシフト作成と職員確保</li> <li>④ 介護ソフトの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① オンライン研修は e ラーニングを使用したものへの参加とし、グループ別研修は実施</li> <li>② 月 2 回の研修を実施し、介護福祉士の資格取得を目指す。</li> <li>③ 各ユニット、常勤換算 5.4 人を維持できるような人材確保に努める。</li> <li>④ 介護ソフト導入後、概ね問題なく行えており、新たな加算 (LIFE) 算定に取り組む。</li> </ul>

### (3) 特別養護老人ホーム 結いの丘

#### (7) 運営方針 ～さまざまな縁を結ぶ 安らぎの丘～

入居者、職員、家族、友人、そして地域の皆様とすべての縁を結ぶ中心となり、たくさんの人と出会い、新しいことに挑戦しみんなで喜びを分かち合う施設を目指します

- 入居者の皆様が自分らしく生活できるようにこれまでの「生き方」「暮らし」「想い」を大切にします。
- 法人理念の「共生・共感」を大切にし、寄り添う介護を大切にします
- 地域でなくてはならない施設になれるよう、貢献活動を推進します

#### (4) 2023 年度 拠点目標および行動計画

##### ～ 「チームケアの向上」 信頼される施設になる ～

重点項目	目 標	行動計画
サービス向上	安全・安心な介護	入居者・家族が安心して過ごせるよう、多職種が連携・協力して、質の高い、満足度の高いサービスを提供する
地域貢献	地域に根ざした施設	地域に開かれ、信頼される施設を目指し、地域交流室の効果的な活用を図る
情報発信	「見せる化」の推進	入居者の日常生活の様子や施設の取り組みを知ってもらうため、様々な方法で情報発信する
人材確保・育成	「働きたい」職場	人材の育成・定着を図るため、各種会議の見直しや研修の充実、人事考課の効果的な活用を進める
施設運営	安定と継続性	災害や感染症発生時においても業務が継続できる安心・安全な施設を目指し、研修・訓練を計画的に実施する

(ウ) 2023 年度 各部門目標および行動計画

	2023 年度の重点目標	具体的な取り組み・数値目標
事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本部機能への貢献</li> <li>② 他職種との連携</li> <li>③ 加算取得の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本部業務に積極的に関与し、スムーズな法人運営に貢献できるようにする</li> <li>② 部門間の情報共有がスムーズに進められるように工夫する</li> <li>③ LIFE の導入に向け、多職種との連携を強化する</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 施設サービス計画の作成</li> <li>② ご家族、ご利用者との信頼関係の構築</li> <li>③ 施設のオープン化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 定期的なカンファレンスの実施による、多職種の意見を取り入れたプランの作成と交付 必要帳票の不備がないように、内部監査を実施する</li> <li>② ご利用者並びにご家族のご要望を真摯に受け止め、必要な情報の共有化を図る。またリアルタイムでの情報提供に努め、タイムログからの不安感が発生しないようにする</li> <li>③ コロナウイルス感染症が5類変更されることにより、ご利用者のご家族の交流等の機会（各行事へのお誘い等）を確保することに努め、施設のオープン化を図る</li> </ul>
実施	<p>【1on1 ミーティングの導入】</p> <p>[栄養]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 栄養スクリーニングの実施</li> <li>② 業務の効率化</li> </ul> <p>[機能訓練]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 個別機能訓練の充実</li> <li>④ ご入居者様とのコミュニケーションの充実</li> </ul>	<p>その都度によってスタイルを変えながら実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 栄養スクリーニングを軌道にのせ、基盤を作る 嗜好品・栄養補助食品について、昨年度の嗜好・満足度調査をもとに改善・提供する</li> <li>② 年間を通じて業務内容を把握し、年間予定に組み込む 各種レクの改善など、業務の効率化を図ることで、他職種・ご入居者様等と関わる時間を確保する</li> <li>③ 必要性の高い方（拘縮予防・ADL 維持）を中心に、訓練・評価・ケアカンファレンス等の基盤となる流れを作る</li> <li>④ 他職種との連携を密に行い、週一回はお声がけできるようにラウンドを行う</li> </ul>
看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 心のこもった安心できる看護・医療体制を築く</li> <li>② 信頼される医療サービスを提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 他部署との連携を密にし、誰が何を聞いても分かる申し送り体制を構築する</li> <li>② 常に利用者のサービス視点に立った接遇に心掛け、利用者や家族との尊厳と権利を尊重する 観察とコミュニケーションにより、利用者を知り、非言語的なサインを見逃さずに捉える</li> </ul>
介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ご入居者様一人ひとりに応じた尊厳のある個別の支援</li> <li>② 質の高い介護の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 効率を求めず一人ひとりのニーズに沿った介護サービスを提供することにより、ご入居者様が自分らしく生活できる場を目指す 職員の不適切なケアによる苦情ゼロを目指し、ご入居者様が安心して笑顔で生活できる場を作る</li> <li>② 職員の育成プログラムを策定し、介護技術の向上や、認知症の理解を深めるなど、職員が自己研鑽できる場を作り、質の高いサービスの提供を目指す</li> </ul>